

4 生き物と食べ物・空気・水 観察1

6年 組 名前 ( )

資料調べ1では、次のことを調べました。

- ・人は、食べ物を通して、生き物とつながっていて、食べ物のもとをたどると、植物に行きつく。
- ・生き物どうしは、食べたり食べられたりする関係でつながっていて、食べ物のもとをたどると植物に行きつく。

学校の水そうで飼っているメダカは、えさを食べて生きていますが、池や小川などにすむメダカは、自分で食べ物をとって生きています。

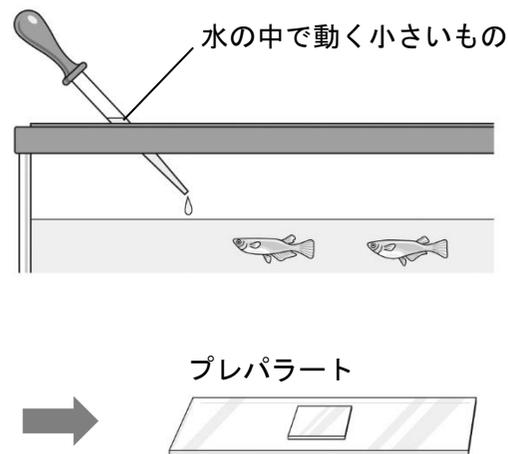
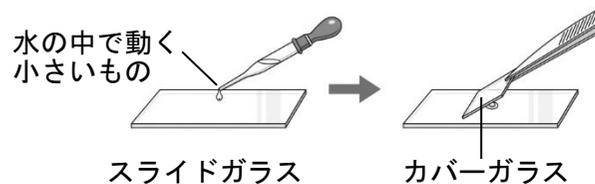
【はてな?】  
問題 池や小川などにすむメダカは、何を食べているのだろうか。

【予想を書こう】 池や小川などにすむメダカの食べ物を予想しましょう。  
自分より小さい生き物を食べていると思う。

(理由)  
ワシもキツネも、自分より小さい生き物を食べているから。

【観察の方法を確認しよう】 池や小川などにすむメダカの食べ物について、自分の予想を確かめる方法を確認しましょう。

- 〈方法〉
- ①目の細かいあみを使って、池の中の水草や池にしずんでいる落ち葉などをすくい取る。
  - ②すくい取ったものを、水を入れたコップに移し、しばらくしてから水の中を見て、動く小さいものがいないか調べる。
  - ③水の中で動く小さいものがいたら、スポイトで水そうのメダカにあたえて、メダカが食べるかどうかを調べる。また、プレパレートを作って、けんび鏡で観察する。



【観察1】  
メダカの食べ物を調べよう。

【結果を書こう】  
水の中で動く小さいものを観察して、観察カードに記録しておきましょう。

【結果から考えられることを書こう】  
実験1の結果から、池や小川などにすむメダカの食べ物について、自分の予想が確かめられたかを考えましょう。

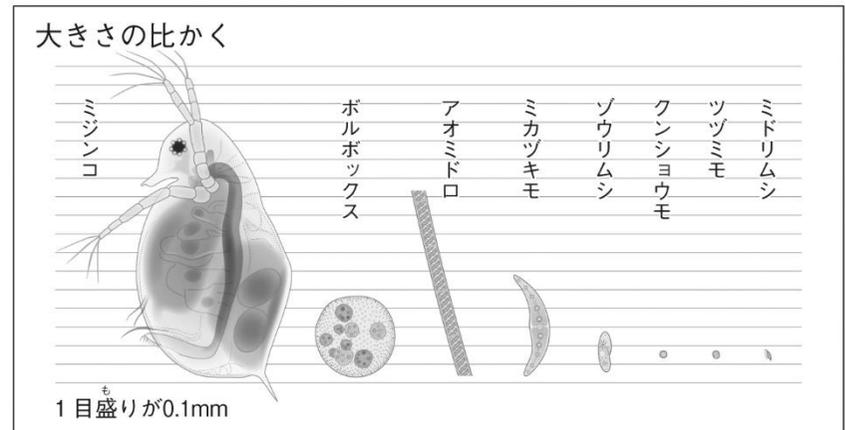
水の中で動く小さいものは生き物で、その生き物を水そうのメダカにあたえたら食べたから、予想どおり、メダカは、自分より小さい生き物を食べているといえる。

【結果からわかった問題の答えを書こう】  
結論 池や小川などにすむメダカは、水の中にいる小さい生き物を食べている。

【【広がる学び】】

水中の小さい生き物  
池や小川などには、さまざまな種類の小さい生き物がすんでいて、それらの生き物の間にも、食う食われる関係が見られます。

例えば、ミジンコは、大きさが1～2mmの小さい生き物ですが、クンショウモやツツミモ、ミドリムシなど、より小さい生き物を食べて生きています。



4 生き物と食べ物・空気・水 観察1 6年組 名前( )

【観察1】

メダカの食べ物を調べよう。

水の中で動く小さいもの

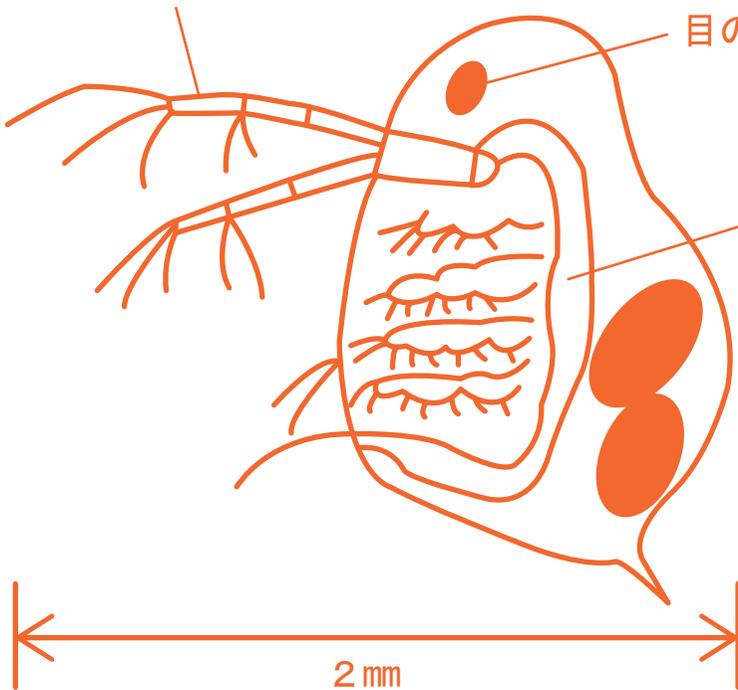
9月 8日

気温 27℃

うでのようなもの

目のようなもの

消化管の  
ような  
もの



【説明】

- ・ 2mmくらいの大きさ。
- ・ うでのようなものを動かして何かを食べているようだ。
- ・ 目のようなものがある。
- ・ 消化管のようなものがすけて見える。